

都市計画道路競馬場高丸線整備事業工事説明会

要 旨

■日 時；令和5年(2023年)7月2日(日) 14:00~15:00

■場 所；仁川小学校 視聴覚室

■参加者；75名

■説明会概要；

市から配布資料及びスライドを使用し、事業全体の概要、今回施工する工事内容および通行規制について説明を行いました。

主な質問や、回答などは以下のとおりです。

■意見交換・質疑応答の要旨

<凡例>

●；参加者のご意見 ○；市の説明

① 工事車両について

●工事現場への入場時間待ちで、公園近くの路上にダンプトラックを停めるなどすると子どもが危ないのではないか。

○待機等でダンプトラックを停車させることがないよう、請負業者に指導を徹底します。

② 阪急バスについて

●工事に伴い移設した阪急バスのバス停は、車両通行止めが終わったら元の位置に戻すのか。

●阪急バスの運行経路はとりやめる区間もあるのか。

○道路形状が変わるが、元の位置に戻す予定です。

○迂回路を通行することになり、減便となります。

③ 交差点について

●車両通行止め期間中は、仁川小学校前の信号を停止させるのか。

●工事によって、原条橋交差点部分はどうなるのか。

○原条橋から小仁川沿いの道路が通行可能なため、信号の停止は行いません。

○小仁川沿いの道路が現在の原条橋交差点の手前で(都)競馬場高丸線と交差する形状となります。

④ 通行規制について

- 仁川小の児童が西門を利用するようになるのであれば、近くの横断歩道の路面標示が薄くなっているため整備が必要ではないか。
- 市道高丸山線を車両通行止めするにあたり、交通量調査は行ったのか。
- 迂回路とする道路で朝夕の通行が多くなり、特に小仁川沿いの道路は離合も難しいため、迂回路案内に交通誘導員が必要ではないか。また、交通誘導員を立てないのであれば仮設信号器を設置するべきではないか。

○西門を利用する児童は南門を使用していた児童で、西門付近の横断歩道は使用せず、今までどおり原条橋交差点の横断歩道から学校沿いの歩道を通り西門へ行くようになります。

○（都）競馬場高丸線の設計を検討するための調査を過去に行っているが、今回の工事による規制に関する調査は行っていません。

○小仁川沿いの道路は信号待ちによる車が滞留するスペースがなく、信号による制御を行うことで、かえって道路混雑の要因になると考えます。

迂回路の設定および交通誘導員の配置等については、現在の交通量を踏まえ再度検討を行い、後日改めて回答を行うこととします。（別途 宝塚市 HP 掲載）

⑤ その他

- 阪急今津線のアンダー部の高さ制限は、どの程度なのか。また、大雨等による冠水はないのか。
- 迂回路に設定されている仁川台を通る車の速度が速く今でも危険。速度の抑制はできないのか。

○道路構造令にある高さ基準をクリアする予定であり、高さ制限はありません。

アンダー部から県道生瀬門戸荘線まで雨水管を布設する予定で、想定内の降雨については雨水の処理が可能としています。

○本工事車両については指導を徹底し、迂回路を利用される一般車に対しては、看板等による注意喚起を行います。

※本事業の実施については、皆様のご意見をお伺いしたいと思っており、ご意見等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

皆様のご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

宝塚市 都市安全部 建設室 道路建設課

TEL 0797-77-2098、FAX 0797-77-9119

E-Mail m-takarazuka0088@city.takarazuka.lg.jp